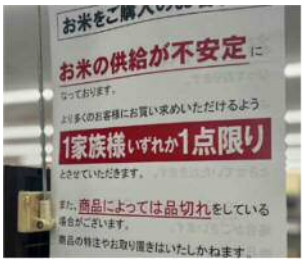
かわら版　事務所通信　VOL-175（2024/09）
編集責任者：佐藤寿志　0100

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。皆さんのお宅にはお米がありますか？　我が家はパックごはんで食事を済ましています。

さて、令和の闇市（？）こと・・メルカリにはお米が大量に出品されております。



インターネットや専門サイト、スマホの進化で「**誰でも簡単に金儲けができる時代**」になったと感心（失望？）しています・・。

最近、たび重なる税務調査やお客様の倒産等による突発的な業務で疲弊し「なんとなく運が悪い」と感じている私は興味も手伝って「開運」グッツを求めメルカリで探すことにしました。ティッシュの端切れや旧札の 1 万円が 9,999,999 円もの高額で幸運を招くと出品されています。これまた同様に「**なんでもありの時代**」になったと実感（失望？）しています。

お米同様、まだ貴重品な新紙幣の 1 万円札を眺めながら「論語と算盤（正しい考えで、しっかり儲ける）」を大正、昭和初期の経済人に求めた渋沢栄一氏の苦労と本質を見抜く眼力に頭が下がります・・。

「稼げる人や名経営者は運を引き寄せる行動と考え方を知っている。」

魅力的なサブタイトルに惹かれ本書を手にしました。

今月は、いつも経営の事ばかりを考えている皆様と本書『**「運がよくなる人」と「運が悪くなる人」の習慣（横山信治著、明日香出版社）**』を参考に情報（お気軽な）を共有させて頂きます。

著者は 40 歳まで運が悪くなる「考え方」と「行動」をとっていたため、「運に見放される人」になっていたと自分を評しています。

奮起して「運が良くなる方法を身に着け」実際に考え方を改め、行動に移した結果、上場企業の役員になれるほど成功したようです・・ズバリ、運を味方にした人物ですね・・。

運が良くなる「考え方」

弘法大師、空海は「欲を持たぬは大罪である」とおっしゃったそうです。人類の発展に「欲」が不可欠なのは、何となく分かります。

健全な「欲」を求める人は、達成までの道のりを楽しみますが、「欲」に執着する人は結果を気にするあまり達成までの道のりは苦しいものでしかないと筆者は言います。

冒頭で「メルカリ」と「論語と算盤」の話をさせていただきましたが、「成功とは何か」についてどう捉えるかが重要だと私も感じています。

お金が目的なのか、顧客のためになる事が目的なのか、我が国の「資本主義（自由経済）の父、渋沢栄一氏の考え（論語と算盤）が答えのような気がします。

成功（お金儲け）しようとあせって行動すると「運」がスーと消え、仕事がどんどん減るようですよ・・。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町 3 条 1 丁目 1 番 1 号
TEL (011) 699-5925

運が良くなる「行動」

ATM でお母さんに抱っこされた小さなお子さんと目が合った時、私が笑顔を向けると天使のような笑顔を返してくれる事があります（幸せ！）。

筆者は運が良くなる人は誰かに「与え」、運が悪くなる人は誰かに「求める」と言います。

求める人は、常に不満を持って働いています。当然、不満の中で働いても良い結果が出ません。一方、与える人には味方がたくさん出来、みんなが応援してくれるので運気が上昇するようです‥。

人に与えるのは金銭だけではありません。笑顔を振りまいたり（場を和やかにする）、人に優しくしてあげても自分が損をすることもない。それなら与えた方が自分にとって良い空気が流れると筆者は言います。

聖書にも「与えなさい、そうすれば‥」と書いているようです。誰かに「与える」行為は成功の秘訣なのかも知れません。

運が良くなる「話し方」

人は褒められると気分が良くなりますので褒め上手の人は多くの人に好かれます。しかし、自分は「褒められたい」と思っているのに、他人を「褒めることはとても難しい」のが現実です。

その根本にあるのが「相手を思いやる気持ちより」、「自分の方がもっと大変だと」PR したくなるのが人間の本能がだからだと筆者は語ります。

つまり、「主役」は自分で他の人は「脇役」と考えるのが運を悪くする人の特徴です。

コミュニケーションの達人は「会話の主役は誰かを考え、相手の言いたいことを把握して、それを返してあげる（相手のPRを褒める）」ことが上手のようです。

確かに、敵より味方が増える方が良いのは間違いないでしょう‥。

運が良くなる「口癖」

『原因と結果の法則（ジェームズ・アレン著）』には、「人間は考えていることが言葉に現れ、発せられた言葉が脳に伝達され、脳は伝達された通りの人間になろうとする」と記されているようです。

筆者は、一例として「面白そう」と興味や好奇心に満ちた言葉が口癖の人には運が舞い込み、「忙しい」とネガティブな言葉が口癖の人には運が逃げていくと語っています。

本書の内容は、みんな知ってはいるが「実際に行動できていない」事が多く書かれていたと思います。自分を振り返り、少しでも悪い点を治そうと努力できる人間（これが難しい‥）になることが「運を呼びこむ」秘訣と言えそうです。

運が向いてきたら、椅子を差し出せ （ユダヤ人の格言）

放浪の民族だったユダヤ人は「不運の次には幸運が来る」と考え、ふだんから自分を磨き、努力している人だけに運が舞い込んで来くると自己研鑽を怠りません。そしてやっと巡り合った幸運に「どうぞ」と椅子を差し出す準備を行っていたようです。

編集後記：

厚く身体にこたえた「夏」がやっと終わりをつげ、待ちにまった涼しくて一息つけ「秋」がもうすぐ目の前です。しかし、その後にはあの・・「冬」が今年もやってくるのでしょう。結局、人生は「幸いなこと」と「辛いこと」の繰り返しなのでしょうね‥と今月還暦を迎え感じています（寿）。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町３条１丁目１番１号　TEL(011)699-5925